

2026年度 訪問看護師ジェネラリスト研修 B1～B6(領域別看護)研修要領

研修番号	302			
目的	1. 新たな社会ニーズに対応する能力向上に向けて、看護のキャリアに応じたジェネラリストを育成し、「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ役割の発揮と質の高い看護が提供できるよう支援する。 2. 小規模施設での勤務者やセラピストに対して、他職種協働の学習の機会を提供する。			
研修目標	1. 訪問看護において、安全・安楽な看護を提供するために必要な知識・技術を学び、他職種と協働した看護実践の一助とする。 2. 他職種と協働した支援における課題を明確にすることができる。			
対象	※ラダーⅡ→個別の状況に応じた判断と実践を行う：訪問看護師のための生涯学習ガイドVer1(日本訪問看護財団)			
	※大阪府内の訪問看護事業所に従事する看護職および学びなおしやスキルアップを希望する看護職・セラピスト(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)			
方法	オンデマンド配信 ※配信期間:9月～11月 3か月間			
受講料	※ パッケージ研修:事業所単位申込 →管理者申し込み			
研修URL	※ URLは申し込み時のメールアドレスに送ります。			
研修資料	※ ダウンロード形式、配信開始前に、パスワードをメールでお送りします。見落としのないよう管理をお願いします。			
受講料定員	コース	B	参加費	
	受講人数	50	B-1～6 税込み	
			会員	19,800
			非会員	33,000
受講証明書	※ オンデマンド配信のため条件付きで発行 視聴後のアンケートにおいて①講義受講者氏名を入力の上、②学びの内容③今後への活用や課題を明記した方が対象 ◆ 発行方法は、配信期間終了後内容を確認の上、事業所単位→管理者へメール添付による発行			
研修受講時の注意	1. 研修受講が確定後、研修用URL等を申込時に登録されたメールアドレス宛てに送信します 2. 研修用URL等を、申込事業所以外の者に伝えることを禁止します。 3. 講義内容は著作権によって保護されています。講義内容の録音・録画・撮影、資料のコピー、それらの事業所外への配布及び配信も 禁止します(HPでの配信、SNSへの投稿を含む)			

HPからWeb
申し込み

自動受付
メール送信

受講者払い
込み

Zoom URL・資料案内メール
送信

研修受講資料
ダウンロード

受講証明書発行
該当研修のみ

ポートフォリオに
研修の履歴を!

2026年度 訪問看護師ジェネラリスト研修 B1～B6(領域別看護)研修概要

コース	時間	講義概要	内容	到達目標	講師名	職種	所属等
B1 緩和ケア	60	緩和ケア	・在宅における緩和ケア(非がん疾患含む) ・ACPや意思決定支援と看護師・関連職種との役割	1. 在宅緩和ケア(非がん疾患含む)について知る 2. ACPや意思決定支援と看護師・他職種の役割を理解できる	長尾 充子	がん看護専門看護師 緩和ケア認定看護師	あるふぁ訪問看護ステーション 管理者
	60	緩和リハ	・緩和ケアとリハビリ ・緩和期のEBM ・終末期におけるリハビリの実際	1. 緩和ケアにおけるリハビリテーションの役割を理解できる 2. 緩和リハについて、スタッフや利用者へ説明できる	能登 拓己	理学療法士	訪問看護ステーション彩
B2 小児訪問看護	60	小児看護	・小児訪問看護の現状と課題 ・医療的ケアが必要な子どもと家族ケアの実際	1. 小児訪問看護の現状・看護師の役割を理解する。 2. ケアが必要な子どもと家族への関わりの実際を理解できる	西海 真理	小児看護専門看護師	よどきり こども訪問看護ステーション 管理者
	60	訪問リハ	・小児訪問リハの現状と課題 ・大人と小児リハのちがい ・訪問リハの実際 ・他機関との連携	1. 小児訪問リハにおけるセラピストの役割を知る 2. 他職種連携の視点で課題を明確にすることができる	山田 剛	作業療法士	訪問看護ステーション CIL豊中
B3 訪問看護 精神科	60	精神科看護	・精神科看護過程 ・精神科薬物治療の考え方 ・精神科訪問看護の実際 ・精神科看護における記録	1. 精神障がいのある在宅療養者・家族への支援を理解する 2. 他職種協働による支援の実際から訪問看護の楽しさを知る	加波 一友	看護師	すずね訪問看護リハビリステーション 所長
	60	訪問リハ	・精神科訪問看護の専門性 ・アセスメントとアプローチ ・支援の実際 ・利用者と支援者のエンパワメント	1. 生活機能をアセスメントや、その人に必要な活動の支援を知る 2. 障害を含む人や、生活全体の作業活動を用いた援助の実際を知る	山口 由香里	作業療法士	訪問看護ステーションこころ 副所長
B4 認知症ととも に生きる 人の看護	60	認知症看護	・認知症のある利用者・家族の看護に必要なアセスメントと支援 ・認知症をとりまく倫理的問題 ・社会制度の活用(フォーマル・インフォーマル) ・多職種連携・協働	1. 認知症ケアの知識・技術・訪問看護師の役割を理解する 2. 本人および家族の気持ちをふまえ、訪問看護の視点から意思決定支援のポイントを考える	原田 かおる	老人看護専門看護師	社会福祉法人 恩賜財団 京都済生会病院
	60	訪問リハ	・認知症のある人の訪問リハビリ ・他職種協働の重要性 ・作業療法の支援の実際	1. 生活場面でのリハビリの実際とセラピストの役割を知る。 2. 認知機能の評価により、できる部分を引き出す関わりを知る	野崎 健	作業療法士	株式会社E-my crew 笑みくる訪問看護ステーション 代表取締役
B5 難病の筋・神経系 訪問看護	60	難病看護	・難病とは ・疾病と治療(ALS・PD) ・看護実践・家族ケア ・チーム医療と他職種連携	1. 訪問看護における難病看護の基本を知る 2. 本人・家族が抱える身体的苦痛、予後への不安と対応を理解できる	大杉 花	教員	大阪青山大学 看護学部看護学科 地域・在宅看護学 助教
	60	訪問リハ	・筋・神経系難病の療養者・家族への支援のポイント ・在宅におけるリハビリの実際 ・他職種と連携した日常生活援助	1. 病状の進行に合わせた支援を知る 2. 他職種連携のポイントを理解することができる	蔦谷 星子	理学療法士	訪問看護ステーション 東和会
在宅における心不全ケア B6	60	心不全ケア	・心不全の基礎知識、現状と課題 ・在宅療養における特徴、訪問看護に求められるアセスメントと支援のポイント ・家族介護サポート・社会資源・制度、多職種連携 心不全緩和ケア・ACPと意思決定支援	1. 慢性心不全の憎悪予防、療養者、家族の不安や介護負担を軽減について知る。 2. 穏やかな在宅療養生活を送るためのポイントを理解できる	舘 正恵	看護師	帝人訪問看護ステーション 株式会社 帝人訪問看護ステーションさかい 管理者
	60	心不全リハ	・心臓リハビリテーションの基礎知識 ・病院内リハと在宅リハの違い ・心臓リハビリの実際 ・運動療法の評価項目と禁忌 ・病院・他職種連携	1. 心リハの概念や現状を知り、支援の実際を知る 2. 心不全ケアが必要な人の他職種連携を知ることができる	高場 裕一郎	理学療法士	ぼると訪問看護ステーション